

主催 宮城県病院薬剤師会

第147回宮城県病院薬剤師会学術研究発表会プログラム

日 時：平成29年3月5日（日） 12：55～17：05

場 所：エル・パーク仙台 6階 ギャラリーホール（宮城県仙台市青葉区一番町 4-11-1）

開会の挨拶 12：55～13：00

司 会 学術委員 山口 浩明
宮城県病院薬剤師会学術委員長 富岡 佳久

学 術 発 表 1 13：00～14：00

座 長 佐藤 真凡、鈴木 さとみ

1. 医薬品安全性情報の収集に関する取り組み

イムス明理会仙台総合病院薬剤部¹⁾、東北大学病院薬剤部²⁾

○村中 太郎¹⁾、小原 拓²⁾、倉兼 広樹¹⁾、岩渕 麻衣¹⁾、清水 達矢¹⁾、古川 奈緒子¹⁾、
小原 有紀恵¹⁾、高橋 武¹⁾、遠藤 孝¹⁾

2. 予定入院患者の中止薬指示書の改訂について

仙台市立病院薬剤科

○松永 夏実、内金崎 叡智、今野 絵利香、今泉 綾子、関川 祐貴子、大友 郁子、
小笠原 正則

3. 糖尿病用薬と腎機能の関係について

西仙台病院薬剤部¹⁾、西仙台病院医事課²⁾、西仙台病院臨床検査科³⁾

○尾形 友莉¹⁾、森 安奈¹⁾、高橋 武¹⁾、高橋 喜久子¹⁾、加藤 則夫¹⁾、三浦 真由美²⁾、
大山 梢²⁾、伊勢 美奈³⁾

4. 血液透析患者への投与に関する添付文書記載内容の調査

東北大学病院薬剤部

○八島 一史、小原 拓、中川 直人、木皿 重樹、眞野 成康

5. 電子カルテ共有フォルダを利用した照会回答データベースの構築

仙台市立病院薬剤科¹⁾、仙台市健康福祉局健康安全課²⁾

○高橋 昂¹⁾、柳原 祥子¹⁾、今野 絵利香¹⁾、遠藤 達也¹⁾、堀内 諭²⁾、成ヶ澤 稔彦¹⁾、
小笠原 正則¹⁾

6. 病棟薬剤業務実施加算算定前後におけるプレアボイド事例報告件数と事例内容の調査

仙台医療センター薬剤部

○佐々木 佳奈子、近藤 旭、本多 磨璃子、望月 鈴、辰巳 侑那、鈴木 敬雄、
小山田 光孝

特 別 講 演 14：00～15：00

座 長 宮城県病院薬剤師会学術委員長 富岡 佳久

『医療過疎地域で展開する専門職連携教育』

城西国際大学副学長・薬学部長 教授
光本 篤史 先生

学術発表2 15:05~16:00

座長 飯塚 緑、堤 栄二

7. 製剤室の破損件数を減らそう

仙台医療センター薬剤部

○小林 英嗣、神尾 咲留未、浅野 知実、近藤 旭、辰巳 侑那、唐芳 浩太、本多 磨璃子、望月 鈴、小野寺 奏、小山田 光孝

8. 院内製剤として新たに取り入れたチラーヂンS坐剤の使用した結果

仙台市立病院薬剤科

○長谷川 恵理、斎藤 智恵、菅野 高弘、穂積 壮一、成ヶ澤 稔彦、小笠原 正則

9. 後発医薬品数量シェア増加と一般名処方急増させた当院の取り組み

塩竈市立病院薬剤部

○鈴木 康弘、設楽 誉、千葉 光、阿部 優、佐藤 真凡、佐藤 昌博、齋藤 利彦

10. 当院における災害用備蓄医薬品の管理体制の見直しについて

仙台医療センター薬剤部¹⁾、仙台医療センター救急部²⁾

○小杉山 迪子¹⁾、浅野 知実¹⁾、吉田 和美¹⁾、山田 健¹⁾、西村 康人¹⁾、小山田 光孝¹⁾、加賀谷 知己雄²⁾、山田 康雄²⁾

11. 「コミュニケーションが成立するDI業務」をどのように実習生に教育するか?

仙台オープン病院薬剤部

○橋本 貴尚、昆 貴志、森 雅之、本明 孝広、柄窪 克行

学術発表3 16:00~17:00

座長 畠山 綾子、和久津 稔

12. エベロリムス誘発肝障害によりエベロリムス濃度と血糖が高値を示した腎癌患者の1例

東北大学病院薬剤部¹⁾、東北大学病院泌尿器科²⁾

○高崎 新也¹⁾、菊地 正史¹⁾、川崎 芳英²⁾、伊藤 明宏²⁾、荒井 陽一²⁾、山口 浩明¹⁾、眞野 成康¹⁾

13. 認知症患者に対する処方適正化に向けた取り組み

岩切病院薬剤部¹⁾、岩切病院メディカルIT管理部²⁾

○佐々木 貴寛¹⁾、伊藤 香織¹⁾、相馬 真志^{1,2)}、中村 悦子¹⁾、飯田 優太郎^{1,2)}、小川 義敬¹⁾

14. 当院産科病棟入院患者における使用薬に対する意識調査

仙台赤十字病院薬剤部、仙台赤十字病院看護部、仙台赤十字病院産科婦人科

○石橋 摩耶¹⁾、佐藤 貞子²⁾、谷川原 真吾³⁾、堤 栄二¹⁾、鈴木 伸男¹⁾

15. 診療データに基づく本態性高血圧患者に対する利尿薬の処方状況に関する調査

東北医科薬科大学病院薬剤部¹⁾、東北大学病院薬剤部²⁾

○佐藤 美里¹⁾、菊池 大輔¹⁾、小原 拓²⁾、渡辺 善照¹⁾

16. 当院におけるインターフェロンフリーC型肝炎治療薬の治療状況と調査

登米市民病院薬剤部

○佐藤 雄平、岩淵 祐子、千葉 なみ江、畠山 大史、飯塚 緑、佐藤 舞美

17. 担当病棟でのポリファーマシーを考える

西仙台病院薬剤部

○古内 貴大、高橋 武、高橋 喜久子、加藤 則夫

閉会の挨拶 17:00~17:05

宮城県病院薬剤師会副会長 中村 浩規

参加費： 宮城県病院薬剤師会会員・東北病院薬剤師会会員・薬学生 無料、その他の方は500円

日本病院薬剤師会病院薬学認定 II-6 1.5単位、III-2 0.5単位